

さらば、歩こう会

鰐井敏夫 & 小林照恵

思い起こせば二十七年前の
一九九七年（平成九年）六月
二一日に産声を上げた「歩
こう会」は、思いのほか長寿で、
やっと今年の二千二十四年二月
二十八日に、合計二六七回の挙
行日を最後に、すべての幕を
閉じました。

その行き先ときたら誠に多
彩なこととなりました。一番
遠くの目的地として、北は乗
鞍岳、上高地、南は湯布院、
高千穂そして長崎、平戸と、
よくもまあ元気に歩きました。
勿論、歩くばかりじゃ能がな
いので、たまには皆生（かい
け）温泉に浸かって骨休みも
いたしました。これらの活動
には、まだ会員たちが若々し
くて元気なことで、代々の世
話人の心意気と機転がなせる
技だと思われます。

初代の世話人の**吉良さん**、
その奥様の紫の君をお連れし
ての華麗なる二人三脚を思い
出します。**二代目**は**藤森さん**
です。非常に物知りで、大い
に世相談義に花が咲きました。

三代目牧野（清次）さんは颯爽
とお歩きになりながら懐に忍
ばせた麦酒を嗜む早技には感
服でした。それを見て見ぬふ
りをされながら、行く先々で
野に咲く花を愛でている奥様
は、花の名前に妙に詳しいの
で花博士とお呼びしてしまし
た。**四代目**の大西さんはとて
も紳士で、彼の人柄で女性会
員もうんと増えました。とく
に**前田（悠熙子）さん**は彼のア
シスタントとして大活躍をし
ていました。

さて、後を引き継いだ私、
五代目鰐井は、あの大西、前
田の名コンビにあやかりたい
と、誰もが認める世界通、旅
行通の**小林照恵さん**を大番頭
に納まり願って、万全の態勢
で臨みました。先ずは足元を
固めることです。地元の古代
史を追うことにしました。鉢
かつぎ姫の民話に出てくる山
根街道を手始めに、物部氏、
蘇我氏、秦氏、竹取物語から
始まって、石上神宮、西行、
行基、在原業平、継体天皇、

大化の改新、白洲正子、司馬
遼太郎、田辺聖子等々いろい
ろな関連地域を歩きました。
さらに、花脊の交流の森や平
郡の簡保の宿にも宿泊しまし
た。

しかしながら、これだけで
は我々がクリスチャンである
ことの値打ちがない。有難い
ことに、河内キリシタンの話
が突然と出現しました。時代
的には戦国時代、一五六四年
永祿七年に現在の大東市にあ
る飯森山城で、城主三好長慶
臣下の七十三人が集団洗礼を
受けたのが河内キリシタンの
始まりでした。それ以後、最
盛期には、周辺に数万人もの
信徒がいたそうです。その痕
跡を辿って歩き続けることが
できたのは幸いでした。**小林
照恵さん**の名サポートに支え
ていただきながら、結局七年
間の長きにわたって、世話人
の任を無事に果たすことがで
きました。神に感謝です。

「歩こう会」のある日…「王寺⇒竜田公園⇒大和平郡「業平道」散策⇒温泉かんぼの宿」



2019年7月24日～25日 右の「かんぼの宿」で1泊

月1回 希望の者が 野外に出かける 気楽な グループ。
毎月第三土曜日。午前9時集合して出発の有志の会。
リーダーと補佐役は必ず**事前に下見** ⇒ 成功のもと！



1997.6.21(第1回)～

2024.2.28(第267回)

(27年間毎月1回)

うち一泊旅行は15回。みなさんどうも
ありがとう。大変お世話になりました

